

# Nabtesco Corporation

## ▶▶ 株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会：毎年6月

基準日：定時株主総会・期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日

単元株式数：1,000株

公告方法：電子公告(当社ウェブサイトをご覧ください)

上場証券取引所：東京証券取引所 市場第一部

株主名簿管理人：東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先：〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について  
株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

●株主さまのご住所・お名前に関する文字についてのご案内  
株券電子化実施に伴い、株主さまのご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録しております。このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主さまのご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

# Nabtesco

## 第6期 株主通信

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで



株主の皆さまへ

## 》 企業理念

ナブテスコは、独創的なモーションコントロール技術で、  
移動・生活空間に安全・安心・快適を提供します。

# TO OUR SHAREHOLDERS

## 》》 ナブテスコの成長戦略

お客さまが抱えられた問題を、  
ナブテスコの差別化技術で解決へと導きます。  
その信頼に応えながら、  
ナブテスコはお客さまとともに成長していきます。

## ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

### 世界的な不況の影響を受け、減収減益となりました。

2008年度は、アメリカの金融問題に端を発する世界的な不況が深刻化しました。上半期はほぼ予想通りに推移したものの、下半期に入って各企業の設備投資の抑制が鮮明になり、売上は急激に落ち込みました。産業ロボット向けを中心とする精密減速機と建設機械向けの油圧機器が、大きな打撃を受けました。第4四半期以降、社内での対策に効果が現れてきたこともあり、結果としては黒字を確保することができました。

### 投資の厳選とコストカットで収益を確保してまいります。

経済状況の落ち込みは今年前半には底が見えてまいります、その後の回復は極めて緩やかなものになりそうです。そのような非常事態を前提にして、いかにして黒字を確保していくかが今後の課題になります。

2009年度に関しましては、まずは収益とキャッシュフローの確保が最優先であり、そのために投資を厳選し、無駄な投資はしない方針で臨んでおります。特に設備投資につきましては検討委員会を設け、そこで審査のうえ、実施しております。ただし開発と人材に対しては、厳選のうえ着実に投資してまいります。また、各事業でコストの削減を徹底してまいります。

2008年度から始まった3か年の中期経営計画「Global Challenge 2010」は、グローバル成長市場での事業強化と、全ステークホルダーを重視した企業経営により、持続的な企業価値増大を目指すことを方針としております。具体的には、「さらなる成長性・収益性の追求」「ROA・ROEを意識した経営の推進」「企業風土の革新」の3点を目標として掲げています。この計画に示された経営戦略は、今後も維持してまいります。

平成21年6月

代表取締役社長

松本和幸



#### 2009年3月期の業績ハイライト

①売上高 1,581億円 前年同期比 **9.2%減**

営業利益 120億円 前年同期比 **38.2%減**

②一株当たり年間配当金 **13円**

## 特集:ナブテスコのブランディング～知名度の向上、イメージの浸透に向けた取り組み～

ナブテスコの理念や、取り組んでいる事業について、また、商品の提供を通して、社会の中で果たしている役割について、社内外に向けてメッセージを発信し、広く「ナブテスコ」ブランドの知名度向上を図っています。

### JR山手線において電車広告を展開

2009年2月2日から3月1日まで、JR山手線において電車広告を展開しました。

キャッチコピーは「こんなところに、ナブテスコ!」。世の中のいろいろなところで、当社の技術が役立っていることを紹介するコピーです。

ドア横の車体広告には「このドアも ナブテスコの技術」のコピーで、山手線の電車のドアにも当社の技術が利用されていることをアピールするとともに、まど上ワイド広告では「山手線をはじめ、世の中のうごかす、とめる。をやっています。」とアピール。「うごかす、とめる。」という当社のモーションコントロール技術が、電車のブレーキ装置やドア開閉装置をはじめとする輸送分野から、産業・生活の各分野まで、幅広く採用・展開されていることを紹介しました。



これらの電車広告については、当社のウェブサイトでも紹介しています。トップページで「ナブテスコからのメッセージ」をクリックしてご覧ください。



まど上ワイド広告



### 自社事業をイラストで内外に認知促進

社員向けに、自社事業についての理解促進を目的としたA1判パネルを作成しました。本社ははじめ各営業所・工場などいたるところに掲示しております。このパネルでは「A DAY WITH Nabtesco」と題して、ボードゲーム風の楽しいイラストにより、起床からオフィスに立ち寄り、出張に向い、帰宅するまでのビジネスマンの一日を、ナブテスコ製品との関わりの視点で紹介。「身近なところにナブテスコがいっぱい!」のコピーとともに、行く先々で気がつかないところで当社製品が貢献している様子について描かれており、当社の製品が人々の暮らしといかに密接にかかわっているかが、誰にでもわかりやすく表現されています。

また、同じイラストをもとに解説を加え、A4サイズ4ページのリーフレットも作成しました。展示会でのお取引先、工場見学の学生など、多くの方に当社製品の理解促進を図る配布ツールで、英語版・中国語版も作成し、海外のお客さまへも対応しております。



**「A DAY WITH Nabtesco」**  
の中間

忙しいときの食事に重宝する  
レトルト食品やゼリー・ドリンク。  
ナブテスコグループの東洋自動機(株)はその包装機  
をつくるトップメーカーです。

※給袋式自動充填包装機国内市場シェア約 85%

船のエンジンをリモートコントロールする装置や、新型の電子制御エンジンにも、ナブテスコ製品が使われています。

※船用 2 ストロークディーゼルエンジン遠隔制御システム世界市場シェア約 40%

お父さんが帰りに乗ったのは飛行機。ナブテスコのフライト・コントロール・アクチュエーション・システムが使われています。離着陸や飛行が行われます。

※フライト・コントロール・アクチュエーション・システム国内トップサプライヤー

混雑するラッシュ時の駅。通勤・通学に電車を利用する人たちの安全を守るプラットフォームドアも、ナブテスコの製品です。

※スクリーンタイプ・プラットフォームドア累計国内市場シェア約 95%



地球にやさしい風力発電機を動かしているのは、風だけではありません。ナブテスコの駆動装置が風車や羽根の向きを調節しています。

※大型風力発電機用駆動装置国内企業トップシェア

オフィスに到着したお父さんを出迎えてくれるのは、トップブランド「NABCO」の自動ドアです。

※建物用自動ドア国内市場シェア約 50%

エアブレーキを採用しているトラックやバスには、ナブテスコのブレーキ装置が使われています。

※商用車用ウエッジチャンパー国内市場シェア約 70%、同エアドライヤー国内市場シェア約 85%

最先端の車いす「アシストホイール」。モーターを搭載し、坂・スロープや砂利道などで、介助する人の負担を軽くしてくれます。

※介助用電動車いす国内市場トップシェア

出張へ行くお父さんが乗っている新幹線や電車でも、ナブテスコのブレーキやドアが大活躍しています。

※鉄道車両用ブレーキ装置国内シェア約 50%、ドア開閉装置国内市場シェア約 70%

お父さんの出張先の工事現場で働いている力持ちのパワーショベル。ここにも、ナブテスコの走行モーターが使われています。

※パワーショベル用走行モーター国内市場シェア約 40%

工場では産業用ロボットたちが元気に働いています。ロボットの関節はナブテスコの精密減速機が動かしています。

※プレイバックロボット関節用精密減速機世界市場シェア約 60%

「A DAY WITH Nabtesco」は、当社ウェブサイト「ナブテスコからのメッセージ」のコーナー  
<http://www.nabtesco.com/pr/index.html>でもご覧になれます。

## ナブテスコの環境への取り組み

### 風力発電機用駆動装置の 専用工場が完成!

**当**社独自の減速機機構による風力発電機用駆動装置には、風向きに応じて風車の方向を旋回させる「YAW駆動装置」と、風力に応じて羽根の角度を調整する「PITCH駆動装置」の2種があります。いずれも優れた耐衝撃性、コンパクト性、メンテナンス性を特長とし、国内外で売上を伸ばしてきました。

この風力発電機用駆動装置事業は、2008年4月に累計10,000台の出荷を達成、本年5月には、垂井工場（岐阜県不破郡垂井町）内に専用工場を建設し、着実に成長してまいりました。

当社では、環境配慮によるクリーンエネルギー需要が期待できる世界の風力発電事業に貢献すべく更に売上拡大をめざしてまいります。



風力発電機用駆動装置

### 太陽エネルギーの利用を支える 太陽追尾駆動装置を開発中

**再**生可能エネルギーとして将来性が期待される太陽エネルギー分野。当社では、これまでにロボット用途で培ってきた精密減速機RVシリーズの優れた特性を活かし、今後この分野への参入を積極的に図り、太陽追尾駆動装置の開発に取り組んでまいります。

太陽追尾システムには、発電効率の最大化をめざすために高精度の位置決めが必要とされます。

当社では、突風などの衝撃に耐える高剛性、高効率で高信頼性を有し、かつメンテナンス性に優れた太陽追尾駆動装置の開発を行ってまいります。



太陽追尾駆動装置

## 次世代船舶用ディーゼルエンジンの 電子制御装置を開発

**現**在、当社では次世代船舶用ディーゼルエンジンの電子制御装置の開発を推進しています。

この新しい電子制御装置では、マイコンを使用して燃料の噴射量を制御。燃費の向上や大気汚染物質の排出量削減を実現することができます。

2010年にも量産体制を整えて同装置の販売を開始し、年間約30億円の売上高をめざすことを計画しています。



次世代の電子制御装置を搭載した船舶

## 環境にやさしい 鉄道の発展に貢献

**地**球環境問題や都市部の交通渋滞問題に世界が直面する今日、鉄道は環境にやさしい輸送手段として注目を集めており、世界的に鉄道へのシフトが進む傾向にあります。当社では、長年にわたり培ってきた鉄道関連技術をベースに、海外においても鉄道の発展に貢献しています。

中国では、ブレーキ市場において、現在のシェアを2014年度には倍増することを計画。現地合弁工場の設立も検討しています。

また欧州では、これまでより小型軽量化された新型電気式ドア開閉装置を投入し、鉄道車両部品市場への参入を図ります。それとともに、欧州に鉄道関連の担当者を駐在させ、現地での顧客開拓や技術支援を進めることを計画しています。



N700系新幹線

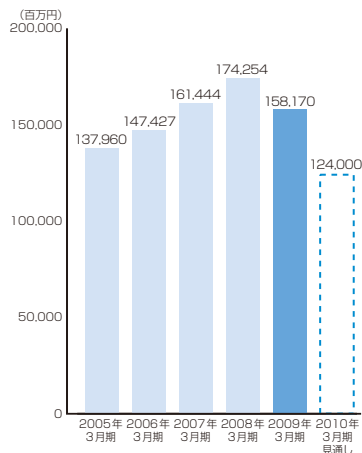


## ▶▶ 連結決算の概要

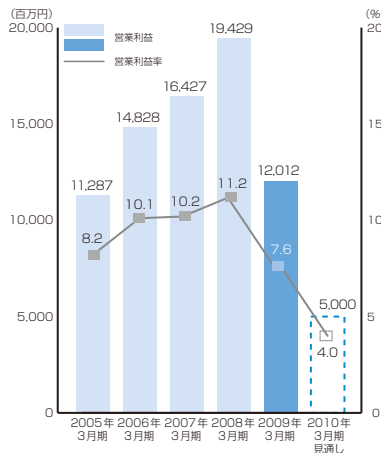
当期における世界経済は、米国の金融機関の破綻をはじめとする金融危機の深刻化により景気後退が加速し、世界同時不況の様相が強まりました。一方、わが国経済も、株式市場の低迷や円高の進行、輸出の急激な減少による減産などにより企業収益が大幅に悪化しており、未曾有の景気後退局面を迎えました。このような状況の中、当社グループの当期の業績につきましては、第2四半期までは堅調に推移したものの、10月以降は各セグメントとも市場における設備投資抑制が鮮明となり、売上高は減少となりました。営業利益、経常利益につきましては、減収のほか、円高の急激な進行および一部の品質問題対応の影響を受け減益となり、当期純利益につきましても、投資有価証券評価損を特別損失として計上したため、大幅な減益となりました。

今後の世界経済につきましては、先行きが非常に不透明であり、好転する兆しも見られません。世界経済に大きく影響を与える自動車産業界におきましては、在庫調整に若干の落ち着きが見られるものの、いまだ市況回復のめどが立たず、減産や設備投資計画の中止、凍結を余儀なくされるなど、予断を許さない状況が続くものと予想されます。当社グループを取り巻く経営環境は、引き続き厳しい環境のもとに置かれております。このような状況の中で、当社は成長が期待される環境・インフラ整備関連事業への展開に向けて新製品開発、既存製品による新市場開拓を積極的に進め、一定の収益を確保するためのコスト削減や生産性および品質の向上により効率化を行うことで企業体質の強化を図ってまいります。これらにより、2009年度の売上高は前期比21.6%減少の1,240億円、営業利益は同58.4%減少の50億円を見込んでおります。

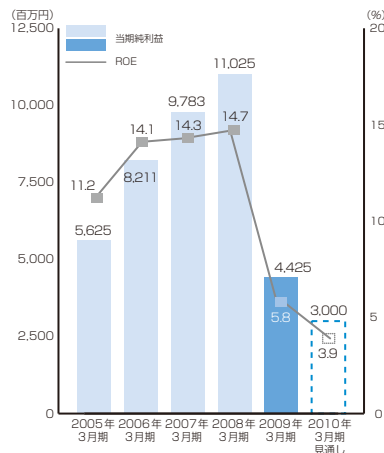
### 【売上高】



### 【営業利益・営業利益率】



### 【当期純利益・ROE】



# SEGMENT INFORMATION

## 精密機器事業

精密機器事業の売上高は前期比14.8%減少の280億円、営業利益は同46.5%減少の25億円となりました。

主力の精密減速機は、産業用ロボット向けの売上が、ロボットの主要ユーザーである自動車業界の設備投資抑制により大幅に減少し、減収・減益となりました。



## 航空・油圧機器事業

航空・油圧機器事業の売上高は前期比9.3%減少の513億円、営業利益は同42.6%減少の26億円となりました。

油圧機器は、第2四半期までは、油圧ショベル・ミニショベルの世界的な需要拡大が続いたものの、10月以降は需要が急速に減退し、走行モーターの売上が減少したため、通期では減収となりました。営業利益につきましては、売上減および材料価格高騰の影響を受け、減益となりました。一方、風力発電機用駆動装置は景気悪化の影響を受けましたが、世界的なクリーンエネルギーに対する関心の高まりから、堅調に推移しました。

航空機器は、民間需要および防衛需要ともに減少し、減収となりました。営業利益につきましては、減収および為替変動等の影響を受けたものの、経費節減等によりほぼ横ばいとなりました。



## 輸送用機器事業

輸送用機器事業の売上高は前期比4.5%減少の467億円、営業利益は同22.7%減少の46億円となりました。

鉄道車両関連機器は、底堅く推移しましたが、製品納入が集中した前期に比べ減収となり、営業利益は品質問題対応費用の計上により、減益となりました。



自動車関連機器は、トラックメーカーの減産影響により、大幅な減収・減益となりました。船用エンジン制御システムは、全世界の新造船建造隻数が過去最高を更新し、増収・増益となりました。

## 産業用機器事業

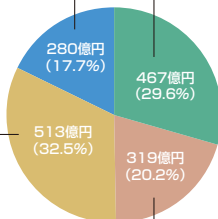
産業用機器事業の売上高は前期比10.5%減少の319億円、営業利益は同46.5%減少の22億円となりました。

自動ドア関連分野は、国内建築需要の減少が続いたため、減収となりました。

包装機械は、堅調に推移し、売上はほぼ横ばいとなりました。専用工作機械は、自動車メーカーの設備投資抑制の影響を受け減収となりました。



当該事業の営業利益につきましては、減収および競争激化に伴う採算悪化等により減益となりました。



セグメント別売上高  
および構成比率  
(億円未満切り捨て)

## 》》 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位:百万円、未満切り捨て)

	前期 H20.3.31現在	当期 H21.3.31現在	増減額
<b>【資産の部】</b>			
<b>流動資産</b>	<b>99,237</b>	<b>84,306</b>	<b>△14,930</b>
現金および預金	11,131	9,422	△1,708
受取手形および売掛金	46,641	35,159	△11,482
有価証券	19,000	18,000	△1,000
たな卸資産	18,421	16,493	△1,928
その他	4,042	5,231	1,189
<b>固定資産</b>	<b>64,079</b>	<b>60,379</b>	<b>△3,700</b>
有形固定資産	43,346	45,206	1,860
建物および構築物	15,712	15,608	△104
機械装置および運搬具	9,624	11,077	1,452
土地	14,472	14,709	237
その他	3,535	3,811	275
無形固定資産	1,382	1,447	64
投資その他の資産	19,350	13,724	△5,625
投資有価証券	16,674	11,543	△5,130
その他	2,676	2,181	△495
<b>資産合計</b>	<b>163,317</b>	<b>144,685</b>	<b>△18,631</b>

(単位:百万円、未満切り捨て)

	前期 H20.3.31現在	当期 H21.3.31現在	増減額
<b>【負債の部】</b>			
<b>流動負債</b>	<b>58,182</b>	<b>41,209</b>	<b>△16,973</b>
支払手形および買掛金	31,462	22,329	△9,132
短期借入金	9,110	8,160	△950
一年内返済予定の長期借入金	3,004	—	△3,004
その他	14,605	10,719	△3,885
<b>固定負債</b>	<b>22,642</b>	<b>21,759</b>	<b>△882</b>
社債	11,000	11,000	—
退職給付引当金	10,504	9,256	△1,247
その他	1,137	1,502	365
<b>(負債合計)</b>	<b>80,824</b>	<b>62,968</b>	<b>△17,856</b>
<b>【純資産の部】</b>			
<b>株主資本</b>	<b>74,777</b>	<b>76,999</b>	<b>2,221</b>
資本金	10,000	10,000	—
資本剰余金	17,500	17,477	△23
利益剰余金	47,412	49,668	2,255
自己株式	△135	△146	△11
<b>評価・換算差額等</b>	<b>2,642</b>	<b>△522</b>	<b>△3,164</b>
その他有価証券評価差額金	2,189	1,047	△1,141
繰延ヘッジ損益	6	△14	△21
為替換算調整勘定	446	△1,554	△2,000
少数株主持分	5,071	5,239	168
<b>(純資産合計)</b>	<b>82,492</b>	<b>81,716</b>	<b>△775</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>163,317</b>	<b>144,685</b>	<b>△18,631</b>

連結損益計算書

(単位:百万円、未満切り捨て)

	前期 H19.4.1~H20.3.31	当期 H20.4.1~H21.3.31	増減額
売上高	174,254	158,170	△16,083
売上原価	132,641	124,040	△8,600
売上総利益	41,612	34,129	△7,482
販売費および一般管理費	22,182	22,117	△65
営業利益	19,429	12,012	△7,417
営業外収益	1,827	1,892	64
営業外費用	1,196	906	△290
経常利益	20,061	12,998	△7,062
特別利益	130	124	△5
特別損失	1,758	5,191	3,432
税金等調整前当期純利益	18,432	7,931	△10,500
法人税、住民税および事業税	5,871	1,767	△4,104
法人税等調整額	498	1,010	511
少数株主利益	1,037	728	△308
当期純利益	11,025	4,425	△6,599

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、未満切り捨て)

	前期 H19.4.1~H20.3.31	当期 H20.4.1~H21.3.31	増減額
I 営業活動による キャッシュ・フロー	18,249	14,055	△4,194
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△8,969	△9,329	△360
III 財務活動による キャッシュ・フロー	△5,748	△6,189	△440
IV 現金および現金同等物に 係る換算差額	1	△959	△961
V 現金および現金同等物の 増減額	3,533	△2,423	△5,956
VI 現金および現金同等物の 期首残高	26,188	29,722	3,533
VII 現金および現金同等物の 期末残高	29,722	27,299	△2,423

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円、未満切り捨て)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
H20.4.1~H21.3.31											
平成20年3月31日残高	10,000	17,500	47,412	△135	74,777	2,189	6	446	2,642	5,071	82,492
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△2,160		△2,160						△2,160
当期純利益			4,425		4,425						4,425
自己株式の取得				△73	△73						△73
自己株式の処分		△23		62	38						38
在外子会社法定基金繰入額			△8		△8						△8
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					—	△1,141	△21	△2,000	△3,164	168	△2,996
連結会計年度中の変動額合計		△23	2,255	△11	2,221	△1,141	△21	△2,000	△3,164	168	△775
平成21年3月31日残高	10,000	17,477	49,668	△146	76,999	1,047	△14	△1,554	△522	5,239	81,716

## ▶▶ 配当のお知らせ

### 利益還元方針および配当金

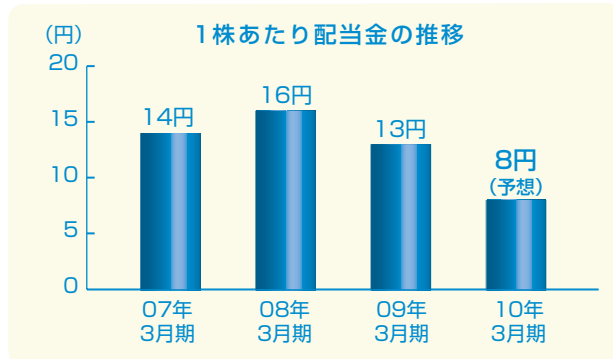
当期末の配当金は1株あたり4円といたします。なお、中間配当金を含めました当期の配当金は、1株あたり13円となります。

当社は、当社グループ全体の業績をベースに、戦略的な成長投資、財務健全性の確保、株主還元のバランスおよび安定配当を考慮した企業収益の適正な配分を図ってまいります。

### 配当金振込制度のご利用について

株主さまご所有の株式に対する配当金（中間配当金を含む）をご指定の預貯金口座へ直接ご入金する制度がございます。この制度で、一度配当金の振り込み先をご指定いただきますと、今後の配当金はご指定の口座へ自動的にお振り込みいたします。

また配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主さまの保有しているすべての銘柄の配当金のお受け取りや証券会社の口座でも配当金のお受け取りが可能となります。（確実に配当金をお受け取り



いただくためにも、これらの振り込みによる配当金のお受け取りをお勧めします。ご指定いただいていない株主さまにつきましては、ぜひこの配当金振込制度をご利用されることをおすすめいたします。）

配当金振込制度をご利用される場合は、株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主さまは、特別口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社0120-78-2031(フリーダイヤル)にお申し出ください。



》》 コミュニケーション

エコバッグで企業PR

当社製品の理解促進を図る配布ツールとして、オリジナルのエコバッグを作成しました。表面には、当社製品が活躍する場面がイラストレーター・山田タクヒロさんの楽しいイラストで表現され、英文コピー「Anytime, Anybody, Anywhere」を記載。それぞれの絵柄の中に描かれた青いハートは、当社製品が身近な製品のどこで活躍しているかを表しています。裏面には、当社の根幹技術であるモーションコントロールを表す英文コピー「moving it. stopping it.」がプリントされています。

また、このバッグに使用されている生地は、フェアトレードにより調達されたインド産オーガニックコットンです。「フェアトレード」とは、貧困のない公正な社会をつくるための対話・透明性・互いの敬意にもとづいた貿易のパートナーシップのことです。高い透明性や倫理観、地域・文化との調和を重んじる当社の企業理念を反映しています。



エコバッグ

「インターネットIRサイトの優秀企業580社」  
「業種別ベスト3企業」に選ばれました！

2009年4月、当社は大和インベスター・リレーションズ株式会社が発表した「インターネットIR（投資家向け広報）サイトの優秀企業580社」「業種別（機械）ベスト3企業」に選ばれました。

「優秀企業」は、大和IR社が2009年3月4日～4月10日にわたって主要な上場会社2,082社のホームページに掲載されているIRサイトをレビューし、同社選考コンテンツ評価にもとづく定量的な採点により、一定水準に達している企業を選定したものです。

当社は、2008年に続き4度目の優秀企業賞受賞。今後も、投資家の皆さまに充実した情報をお届けできるよう努めてまいります。



## 》》 会社情報 (2009年3月31日現在)

### 会社概要

会社名：ナプテスコ株式会社	従業員数：単体 2,249人
設立：2003年9月29日	連結 3,989人
所在地：東京都港区海岸一丁目9番18号	連結子会社：国内14社(他持分法適用会社6社)
資本金：100億円	海外16社(他持分法適用会社2社)

### 役員構成

#### 取締役会

代表取締役社長	松本和幸
代表取締役常務取締役	佐和博
常務取締役	松田保
常務取締役	坪内繁樹
常務取締役	井上陽一
取締役	三代洋右
取締役	今村雄二郎
取締役	青井博之
取締役	坂本勉
取締役(社外)	楢木一秀(非常勤)

#### 監査役会

監査役	野上達夫
監査役	中村秀一
監査役(社外)	石丸哲也(非常勤)
監査役(社外)	山田正彦(非常勤)
監査役(社外)	三谷紘(非常勤)

#### 業務執行体制

最高経営責任者	松本和幸	執行役員	瀬川卓真(自動車カンパニー社長)
常務執行役員	佐和博(パワーコントロールカンパニー社長)	執行役員	青井博之(コンプライアンス本部長)
常務執行役員	松田保(総務・人事本部長)	執行役員	古田博美(自動車カンパニー副社長兼計画部長)
常務執行役員	坪内繁樹(精機カンパニー社長)	執行役員	横山雄二(ナプコドア(株)代表取締役社長)
常務執行役員	井上陽一(技術本部長)	執行役員	橋本正孝(技術本部開発企画部長)
執行役員	片多博(航空宇宙カンパニー社長)	執行役員	坂本勉(鉄道カンパニー社長)
執行役員	今村正夫(船用カンパニー社長)	執行役員	上岡忠志(パワーコントロールカンパニー生産統括部長)
執行役員	三代洋右(企画本部長)	執行役員	小谷和朗(パワーコントロールカンパニー営業部長)
執行役員	今村雄二郎(ナプコカンパニー社長)	執行役員	長田信隆(航空宇宙カンパニー岐阜工場長)
執行役員	坂元一則(ナプテスコサービス(株)代表取締役社長)	執行役員	國井重人(パワーコントロールカンパニー風車機器プロジェクト部長)

株式関連情報

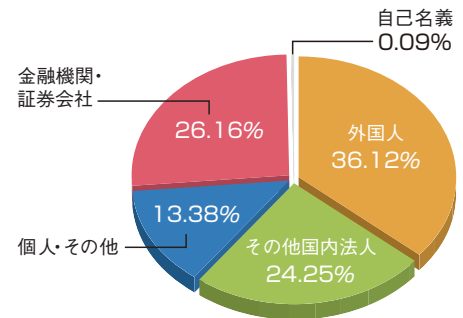
【株式の状況】

発行済株式の総数:127,212,607株 / 株主数:8,535名

【大株主】(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	議決権 比率
●株式会社神戸製鋼所	15,100	12.01%
●日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,183	7.30%
●タイヨウ ファンド・エル・ピー	9,039	7.19%
●帝人株式会社	6,935	5.51%
●日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,231	4.95%
●ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムコバス アカウント	4,676	3.72%
●日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	4,650	3.70%
●日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・株式会社神戸製鋼所口)	4,011	3.19%
●株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ	3,265	2.60%
●ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	2,418	1.92%

【所有者別株式数比率】



【株価・出来高(東京証券取引所)】

